

## 桑名市ブランド推進委員会 会議概要

日時・場所	令和3年11月15日(月) 14:00～16:00 多度地区市民センター3階304会議室(桑名市多度町多度1-1-1)
出席者	委員: 8名 ブランド協議会: 1名 市長: 1名 その他市役所: 2名 事務局: 5名 ナカシャクリエイテブ(株): 2名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 市長あいさつ</li> <li>3 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 桑名ほんぱく2021について</li> <li>(2) ホームページのリニューアルについて</li> <li>(3) 住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業について <ol style="list-style-type: none"> <li>①AR桑名城について</li> <li>②その他の活動について</li> </ol> </li> <li>(4) 都市再生推進法人について</li> </ol> </li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
概要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 桑名ほんぱく2021について <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごいですね。コロナ禍の中で参加プログラム、参加団体が増えていくという、素晴らしいなと聞いておりました。要因はあるのですか。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> <p>⇒今回は新規のパートナーさん開拓を4月から頑張りまして、いろんなところに声掛けをして参加をいただくことが出来たという形になっております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだいけそうなのか、まあ今まで声かけていないところを、より見つけて全部網羅するとこれがマックスかなという感じなのか。全体としてはどんな感じなのか。</li> </ul> <p>⇒実際にプログラムが始まった10月以降で2件ぐらい参加したいというお声がありましたので、今の出ていただいている方がそのまま維持されて、新しい方に入っていただくのであればパートナー数も増えていく。コロナが減速していく中で昨年からちょっと不参加という風にされていた方が、また戻ってきたということもあるかなと思いますので、そういった要素を踏まえれば増えていくことはまだ有るのではないかと考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだポテンシャルがありますね。再来年度の大河ドラマは徳川家康でしたか。それに向けて本多忠勝を推していくということは、桑名としてはアリだと思います。来年度へ向けてより拡張できるように、したたかに地盤固めをやっていただきたいなど。また、やった結果を委員会でも共有さ</li> </ul>

せていただければと。

- ・ストリートピアノにつきましては流行している部分ではありますが、それに乗っかるのも一つの方法だろうと思います。町の特徴を活かして色々取り組んでいってほしい。リピーターに残ってもらうということも大事ですけれど、次の点としてさらにその友達を紹介してもらうようなシステムとか、そういうマーケティングをすることでファンを増やしていけるのではないかと。
- ・街角ピアノとかテレビでも見るだけでも楽しいので、ああいったものが世の中に広がるといいなと思います。博物館に5000人来ている、その方々は街を巡られているかは分かりますか。

⇒今回、地方創生の関係でインフォメーションショップの運営も引き続きやっているのですが、インフォメーションショップと観光案内所の方で新しく桑名城の御城印という、御朱印のお城版を10月から販売をしております、そちらと併せて博物館へ見に行った方が御城印を買いに回られたり、そういう形で市内を回遊していただくという、一つの手段を作りましたので、回遊をしていただいていると思っております。

- ・博物館だけだとか、どっかのお店だけじゃなくて点を繋いでいくためにこういった機会が生きていく、街全体をストーリー化することが意義だと思いますので、なるべく点にならないようにみなさんに心掛けていただければなと思います。

## (2) ホームページのリニューアルについて

- ・シンプルにしてあった方が飽きも来ないし使いやすさ優先に良いかなと思っております。
- ・シンプルで分かりやすくなった。スマホ対応はいいこと。ただ、あくまでここからスタートなので、分析してスピーディーに改善していく必要がある。ニュースの掲載とか市のホームページにあるが、下の方にある、バナーの位置や内容とか。修正にともなう決定フローを今から決めておいた方がいい。市の職員で触って使いにくいところを聞き、なるべく多くの職制の方に変わったことを自覚していただき、巻き込んで修正していくといいかなと思う。
- ・完成した時が全てではない。それから更新していくような姿勢があるのか、システムがあるのか。市役所の職員が率先して試してみるというのは本当に重要なことだと思います。

⇒今も年に2回ごと、半年ごとに分析はしている。数が少ないものはフォローして、数が多いものは上げて、アクセシビリティ検索をしている。最初の1年ぐらいはかなりユーザーの偏りが出ると思いますので、その辺りをきちんと分析して変えていきたい。職員に向けての周知も1月から約1か月間、現状のホームページと並行稼働しまして職員の方にも、更新の仕方や研修などをし、馴染んでもらう期間をもうけることにしている。そこでいろんな課題とかも出てくると思います。

- ・英語で文章を検索して、翻訳ソフトに入れると変な日本語が出てくる。日本語から変える時も外国人から見ると意味がよくわからなくなる。あんまり情報が変わらないところはちゃんと翻訳した方がいい。急に変わる情報だったらグーグル翻訳を使ってもいい。観光のところだったら、特に外国人のセンス・知識は日本人と全然違うから、観光は外国人向けのオリジナルコラムを作ったほうがいい。動画も入れた方がいい。
- ・翻訳システムは大変。今回は無理でも何年か後には何かを導入していくとか、そういうプランにはなっているか。
- ・ライターさんを使っただけの翻訳の仕方はかなりの費用がかかる。動画の活用につきましては、今回のホームページの要素、視覚的に訴える、シンプルで分かりやすいことを守りながら動画を使ってアピール出来ていければと思っていますので、参考にさせていただきたい。
- ・トップページぐらい英語コラムがあってもいいのではないかとPR動画「くわなにさくはな」の英語字幕版はないのか？あれはすぐに出来そうなのにと会話していた。分かりやすいストーリーで構成されているので英語に翻訳するだけでもインターナショナルにできる。
- ・アイコンが分かりやすくなっている。市役所の窓口の混雑状況がわかるのは良い。運用面で改善できるなら、アクセス数がそのページで分かるとユーザーも使いやすい。
- ・長野県の飯山市ウェブサイトが参考になる。人口2万人ほどですがアクティビティプログラムに力を入れていて、観光のための英訳が出てくる。一番上のウェルカムの文章だけでもプロフェッショナルな方が書いていらっしやり伝わる。できるかぎりのことをやった方がいい。
- ・ウェブが変わると、ブランドや観光分野に力が入っているなど伝わるので楽しみにしている。

### (3) 住吉地区及び七里の渡し周辺のまちづくり推進事業について

#### ① AR桑名城について

- ・構図は何をもとに設計しているのか。  
⇒監修の三浦正幸先生（広島大学名誉教授）が白地図をもとに復元の図面を引いておまして、それをもとにしてしまいます。かなり近い状態になると思います。
- ・あまり変なキャラはいらない。色はほんぱくの冊子を参考にしてほしい。古地図が出てくるところはすごく良いと思いました。
- ・三浦先生なら間違いはない。櫓はすべて復元するのか？  
⇒場内はすべて復元することになっている。あと、町屋の一部も門も復元する。
- ・制作してから、導入部分が大事になってくるが、どう考えているのか？

⇒知ってもらわないと意味がないので、来てもらって回遊してもらわないといけない。PRに関して観光協会と協力し市のコンテンツとしてやっていきたい。イベントと絡めることも考えております。

- ・歴史好きが集まるサイトはありますので、そういうところともリンクしていきたい。裾野を広げてほしい。

- ・聞いていてワクワクする。建物意外とも合わせられますか。桜がきれいな公園なのでCGと景色を組み合わせると風情があるかなと考えております。コスプレイヤーなどは現地に行くことに価値観を感じているので、SNSで広げてくれることを期待できると思います。

⇒実際の情景とのオーバーラップはできる所とできないところがあるかなと思います。キャラクターと記念撮影ができるようになっているのでそれを利用できれば。

⇒季節ごとに応じてキャラやイベントを変えられるようにして、何度も足を運んでもらえるようにしたい。スタンプラリーや他の事業者、別のイベントを連携させたい。

- ・始動して落ち着いたら次の手、使い続けてもらえる取り組みが大事。市内の事業者さんと一体になって使ってもらえるようにしてほしい。回遊のツールとして、使ってもらう仕組みづくり。プロモーションの予算も取ってやっていく。市内のイベントや多様なキャラクターとのコラボとかもいい。出だしであらゆるメディアを活用していくべき。

## ② その他の活動について

⇒御城印について。初めての試みでしたので想定がしにくかったです。1000部で3カ月はもつだろうと思っていましたので、追加発注をかけています。3カ所で同時に発売しており、ポスターは駅やビジネスホテルにも貼らせていただきました。アプリもありますので継続して販売を考え、台紙やデザインの変更など次の企画を考えております。

- ・かき氷イベントは住吉エリアに人通りを作ることにコミットして行いました。
- ・連なっていくとすごい力になるんだなと感じました。ブランド協議会、ほんぱくと連動させて、更なる相乗効果をおこしてほしい。続けることが大事だと思います。

## (4) 都市再生推進法人について

- ・道路だとか公園だとか、収益授業を行う権限をもらえたり、自分たちの手で自分たちの計画を、市が支援してくれるという形になりますから、より推進しやすくなる体制ができるのかなと、過言ではないと思います。桑名市では初めてになりますので期待されていると思います。

- ・街づくりを結構楽しみにしておりまして、人がたくさん来てくれて楽しく

遊んでくれる町、かつそれがいかに桑名らしいか。とくに桑名は木曾三川の河口であるので国交省さんの力添えは必ず必要であると。そこでやはり箱だけあって展示室があるだけでは来てもらって楽しんでもらう、理解してもらって、そして定期的に入れ替わらないともういいやとなってしまうのでそうならないような仕組みが必要だと思います。

- ・桑名の顔を作るという動き、肝になるのが都市再生推進法人とこの公園整備で、これらを一通貫の動きができるかが大切だと思っています。私も期待しており、街づくりはしたかったことなんで楽しみに思っております。国交省も川町づくり、川をいかに街づくりと連携させて使っていただくかとシフトしていく。木曾川下流事務所の方もそのような動きを感じるので、PFIの部分の中に川と直結した事業になるので、そういうのを活用できたらと、取り組めたらいいなと思っています。こういうことが、遂に桑名でも実現していく、前に進んでいるなと感じております。しっかり一緒になって取り組めたらいいなと思っています。
- ・この後、年内のうちに、三之丸の地区についての委員会が国交省主催で行われると聞いておりますので、そちらに向けて提示できればいいなと思っています。

#### 4. その他